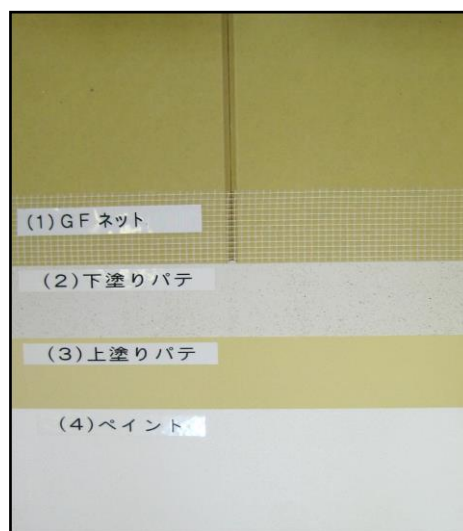


## GFネット工法(全面パテ施工)

### GFネット工法(リフォーム)の特長

GFネットを使用し下地全面にパテを施すことで、精度・強度・納期・費用などの仕上り満足度が非常に高くなります。クロス・塗装仕上げに対応可能です。

- 従来の部分的なパテによる下地補修での仕上がり面と比べ、非常に平滑性に富み美しい仕上りになります。
- 下地にネット施工する事で全面パテと共に一体化し、強靱な下地づくりが可能になります。
- クロスを剥がさず、そのままGFネット→全面パテ施工で仕上げられます。(下地となる古いクロスに浮きや剥がれ、酷い汚れ等の無い場合)
- GFネットは保護紙のない接着剤付きで、作業性が良好です。  
50cm幅で取り回しの良いGFネットエースでは一人での施工も可能になります。
- 古いクロスや石膏ボード等のゴミの発生が抑えられ、エコ問題の解消にもなります。



内装用・目地処理材の総合メーカー



株式会社ニッソー



大阪営業所 大阪市西区川口3丁目10番30号

TEL(06)6582-4920 FAX(06)6582-4903

名古屋営業所 名古屋市中川区富田町千音寺字西尼ヶ塚 144-2

TEL(052)432-1133 FAX(052)432-1131

## 施工方法（新築・リフォーム）

- ① 前準備

下地の目地処理及びコーナー処理を行います。段差が大きい場合はその部分に捨てパテ処理をして下さい。（ファイバーテープは必要ありません。）

リフォームの場合はクロスを剥がさず、そのままGFネット→全面パテ施工で仕上げられます。（下地となる古いクロスに浮きや剥がれ、酷い汚れ等の無い場合）

※下地材の種類及び状況により、必ずシーラー又はプライマー処理をして下さい。
- ② GFネット貼り

目地処理パテ（捨てパテ）が十分に硬化乾燥したのち、GFネットまたはGFネットエースを隙間のできないように、且つシワや浮きがないようにヘラ等で押さえて全面に貼っていきます。多少の隙間は問題ありません。
- ③ 下塗りパテ処理

下塗りパテを全面に塗付します。GFネットをパテベラで押え込むように、網目に十分パテが入り込むよう塗付して下さい。
- ④ 中塗りパテ処理

下塗りパテが十分に硬化乾燥したのち、GFネットの網目が目立たなくなるように中塗りパテを塗付します。

（下塗り処理で網目が完全に覆われていれば、中塗りを省いてもかまいません。）
- ⑤ 上塗りパテ処理

中塗りパテが十分に硬化乾燥したのち、上塗りパテを塗付します。
- ⑥ シーラー処理

上塗りパテが完全に硬化乾燥したのち、パテ表面を軽くペーパー処理してフラットにしていきます。その際の表面についた粉はよく拭き取って下さい。その後、仕上げ材に対し適切なシーラー処理をして下さい。
- ⑦ 仕上げ材の施工

仕上げ材の塗付、又はクロス貼りをを行います。